

東日本大震災津波復興特別委員会現地調査(令和2年11月4日、6日)における要望への対応状況

No.	内容	市町村等	県の対応状況	担当部局	参考
1	以前道の駅を整備した際は、振興局の活性化調整費を使い自動販売機の上囲いを設置した。今は地域経営推進費の活用を考えているので、その際はお願いしたい。	山田町	来年度の振興局での地域経営推進費の申請は1月締切となっています。 当該事案については、申請に係る町の優先順位を勘案しながら、採択を決定していくこととなります。	ふるさと振興部	【山田町・大槌町地区】現地調査概要 p.6
2	サケ漁関係については何と云っていいのかわからないほどに悪く、根本的な原因があり、それに対する県の対策についても時間がかかるのだとは思っている。高い水門があるため稚魚を放流するとなるとなかなか難しいと思っている。このサケ漁についての解決がまず一番である。	山田町	秋サケの不漁要因は地球規模の気候変動による海洋環境の変動のほか、放流直後からオホーツク海に至るまでの稚魚の減耗も要因の一つと考えられていることから、県では、高水温でも回帰する北上川水系のサケに着目し、その特性を利用した「海水温の上昇に強い高水温耐性を持つ稚魚の生産技術開発」や耳石温度標識を用いたサケ稚魚の移動分布、成長等の調査、山田湾での海中飼育放流における生残率向上に係る技術開発に取り組んでいます。 また、サケ資源の減少が北海道でも確認されていることから、稚魚減耗要因のより広域的な調査の実施を国に対して要望しているところです。 今後ともサケ稚魚減耗要因の解明に向け、調査・研究を行うとともに、健康な稚魚の放流に向け、増殖事業関係団体と連携しながら、ふ化場毎の適正な飼育管理や適期・適サイズ放流の徹底を指導していくなど、資源の早期回復に全力で取り組んでいきます。	農林水産部	【山田町・大槌町地区】現地調査概要 p.7
3	県に対する要望に関しては、あえて申し上げると、防潮堤工事の進捗が遅く、日本海溝津波を想定すると非常に心配である。今の状況では、早期避難をしたとしてもかなりの被害が予想される。防潮堤水門をなるべく早くお願いしたい。	山田町	工事工程に大きな影響を及ぼす水門工事の基礎工等の作業が完了したところであり、引き続き、早期の完成に努めていきます。	農林水産部 ・ 県土整備部	【山田町・大槌町地区】現地調査概要 p.7
4	令和3年度からの本格的な事業実施に向けた区画漁業権の取得に向けた作業について、ご指導等をお願いしたい。	久慈市漁業協同組合	秋サケを始め、主要魚種が不漁となる中、海洋環境の変動に左右されない魚類養殖などの新しい取組を進めていくことが重要と考えており、事業化に向けた区画漁業権の変更手続き等について、国と調整しながら、対応してまいります。	農林水産部	【久慈市】現地調査概要 p.1
5	イケス等施設整備に伴う支援・助成をお願いしたい。	久慈市漁業協同組合	魚類養殖のイケス等の施設整備については、国の「浜の活力再生・成長促進交付金」が利用可能です。具体的な整備計画を確認しながら、その活用を支援してまいります。	農林水産部	【久慈市】現地調査概要 p.1